

平成28年度 文化遺産調査特別展 —与謝野晶子 新出資料から—



「伊香保にて 悌六と晶子」昭和14年

千ヶ 悌六 崎

ちが
さき

—与謝野晶子を支えた足立の歌人画家—

会期：平成29年3月19日(日)～5月21日(日)

※会期中作品・資料の一部展示替を行います。

講演会

- 4月8日(土) 「発見!千ヶ崎悌六 —大正・昭和の自由主義文芸、与謝野晶子・石井柏亭の側近、支援者の画業—」
岡部昌幸(帝京大学教授)
- 4月15日(土) 「昭和期における与謝野晶子 —雑誌『冬柏』を中心に—」
森下明穂(さかい利晶の杜 与謝野晶子記念館 学芸員)

※定員=50名 講演会は事前に電話でお申し込みください(先着順)。受付は2月11日(土)から開始しています。

スライドレクチャー

- 4月23日(日) 「郷土の歌人画家、千ヶ崎悌六の軌跡」 小林優(当館 学芸員)

時間はいずれも午後2時～午後3時 会場=足立区立郷土博物館2階講堂 参加費無料。

千ヶ崎悌六「江村残雪」昭和29年

■開館時間=午前9時～午後5時

■月曜休館(祝日にあたる場合はその翌日)

■桜まつり期間(3月25日～4月3日)は無料公開・月曜開館

■交通=JR亀有駅より東武バス【八潮駅南口】行きで〔足立郷土博物館〕下車徒歩1分。JR亀有駅、JR・地下鉄綾瀬駅より東武バス【六ツ木都住】行き〔東淵江庭園〕下車徒歩4分。駐車場あり。

■入館料=大人(高校生以上)200円。団体(20名以上)は100円。

70歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方および介護者1名までは無料。毎月第2・3土曜日は無料公開日。

足立区立郷土博物館

〒120-0001 東京都足立区大谷田5-20-1

Tel 03-3620-9393 Fax 03-5697-6562

足立区 郷土博物館



印刷物登録番号 28-300

ちがきていろく 千ヶ崎悌六 — 与謝野晶子を支えた足立の歌人画家 —

文芸雑誌『明星』を創刊し、時代を牽引した歌人・与謝野寛とその妻、晶子。この二人の教えを受け、側近として夫妻の活動を支えたのが、千ヶ崎悌六（1905～1960）でした。

南埼玉郡潮止村（現・埼玉県八潮市）の田家中に生まれ、後に婿養子として足立区花畑の名家、千ヶ崎家を継いだ悌六は、旧制第二高校在学中から『明星』に詩歌を投稿し、与謝野夫妻を中心とする詩歌結社、新詩社の一員として夫妻との親交を深めていきました。昭和5（1930）年、雑誌『冬柏』が新たに創刊されると、その編集発刊の中心を任されるなど、歌人・編集者として常に与謝野夫妻の傍らにあり、夫妻の盟友である洋画家、石井柏亭に学んで洋画・水彩画家としても活躍しました。さらに昭和23（1948）年から足立区立第十三中学校で教職につき、多くの子弟を育成しました。

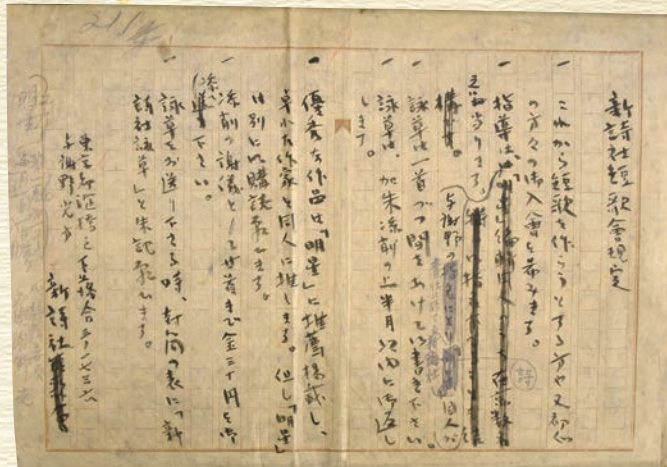
今回の展覧会では、近代文芸史に一時代を築いた与謝野夫妻と共に生きた足立の歌人にして画家、そして教育者である千ヶ崎悌六の事跡を、新たに確認され作品や資料を中心にご紹介します。



第二次『明星』第10巻第1号



『冬柏』第2巻第1号



千ヶ崎悌六筆「新詩社短歌会規定原稿」(第三次『明星』掲載)



『浅間嶺』第4巻5月号



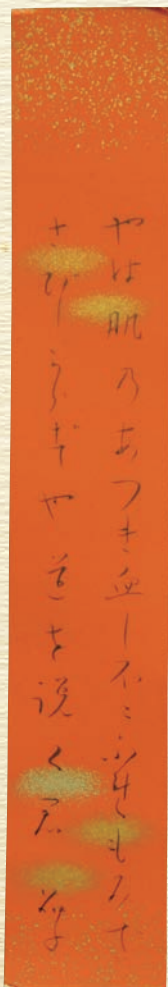
第三次『明星』創刊号



千ヶ崎悌六《与謝野晶子臨終の像》昭和17年



与謝野寛・晶子歌 石井柏亭画 《あざみの図》



与謝野晶子筆 歌短冊「やば肌乃あつき血しほにふれもみでさびしからずや道を説く君」



千ヶ崎悌六《江村残雪》昭和29年
(第十回日展・週刊朝日表紙コンクール出展)



足立区立郷土博物館
〒120-0001 東京都足立区大谷田 5-20-1
Tel: 03-3620-9393 Fax: 03-5697-6562